様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	さんぽく体験交流企業組合	所管課	山北支所産業建設　課
指定期間	令和６年４月１日～令和８年３月31日（２年間）	評価者（課長）	鈴木　健次

１　令和７年度の実績

（１）事業実績

利用実績	宿泊　3,163名、日帰り入浴　2,274名
サービス向上の取組	地域活動の交流拠点施設として、体験交流事業等を実施するとともに、研修・視察などの受入れや利用者に対しての地域情報の提供についても積極的に行った。

（２）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	8,415	9,079	9,555	27,049	基本協定額：　18,634　千円
	利用料金	13,131	13,515	11,672	38,318	
	事業収入	267	23	24	314	
	自主事業収入	24	346	370	740	
	その他	0	0	0	0	
	収入合計　①	21,837	22,963	21,621	66,421	
支出	人件費	11,835	11,679	11,936	35,450	
	福利厚生費	15	25	75	115	
	事務費	430	338	316	1,084	
	管理費	7,274	7,762	7,339	22,375	
	水道光熱費	3,260	4,010	3,941	11,211	
	修繕料	704	704	704	2,112	
	使用料・リース料	2,257	1,788	1,640	5,685	
	手数料・保険料	376	499	236	1,111	
	委託料	677	761	818	2,256	
	事業費	369	570	225	1,164	
	自主事業経費	0	184	262	446	
	その他	1,766	1,924	2,245	5,935	
	支出合計　②	21,689	22,482	22,398	66,569	
収支差額（①－②）		148	481	▲ 777	▲ 148	

２ 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	△	支払業務の遅延が発生したため、コンプライアンスに欠けていた。
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	△	組合全体の財務状況が厳しい状況にあり、指定管理とは別に運営する食堂運営により収入確保に向けた事業は実施したが、財務状況の改善に至らなかった。
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

３　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

新型コロナ禍前の入込客数・売上に至っておらず、資金繰りに苦慮している。（指定管理とは別に運営する食堂運営が特に運営が厳しい）

（2）課題解決に向けた取組

・利用者の増加に向けて、SNSやホームページ等を活用して定期的な情報発信を行った。インターネットによる宿泊予約者数も徐々に増え、宿泊客獲得に向けた事業展開(体験メニューの充実など)を実施した。
・組合の資金繰りを安定化させるために、情報発信の強化や体験メニューの充実、収入減少分を支出抑制により経費削減に努めたが、改善には至らなかった。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

特になし

②その他

特になし

４　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

令和7年度の指定管理施設分の収支は約80万円弱の赤字となり、指定管理とは別に運営する食堂運営も約80万円弱の赤字で、組合全体としての収支は計160万円の赤字となった。市や商工会・金融機関の指導の下、令和6年度から令和7年度までの間に収支を改善し、黒字経営できるように経営改善に努めてきたが、目標未達のまま指定管理期間を終えることとなった。

（2）施設所管課の評価

施設利用者が安全に快く利用できるように、日頃より適正な維持管理作業を実施しており、利用者からの苦情等もなく、施設の維持管理については良好であった。しかしながら、指定管理者の組合全体の財務状況が厳しく、経営改善に向けて努力していることは把握していたが、各種経費に係る支払業務の遅延については非常に残念であった。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

令和7年度末を以って指定管理終了